

建設副産物情報交換システム「COBRIS」の導入について

県土整備部発注工事では、請負者が作成している再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）について、現在導入している国土交通省の「CREDAS 入力システム」が平成30年3月31日をもって廃止となるため、建設副産物情報交換システム「COBRIS」（以下「COBRIS」）を導入し、運用することとしました。

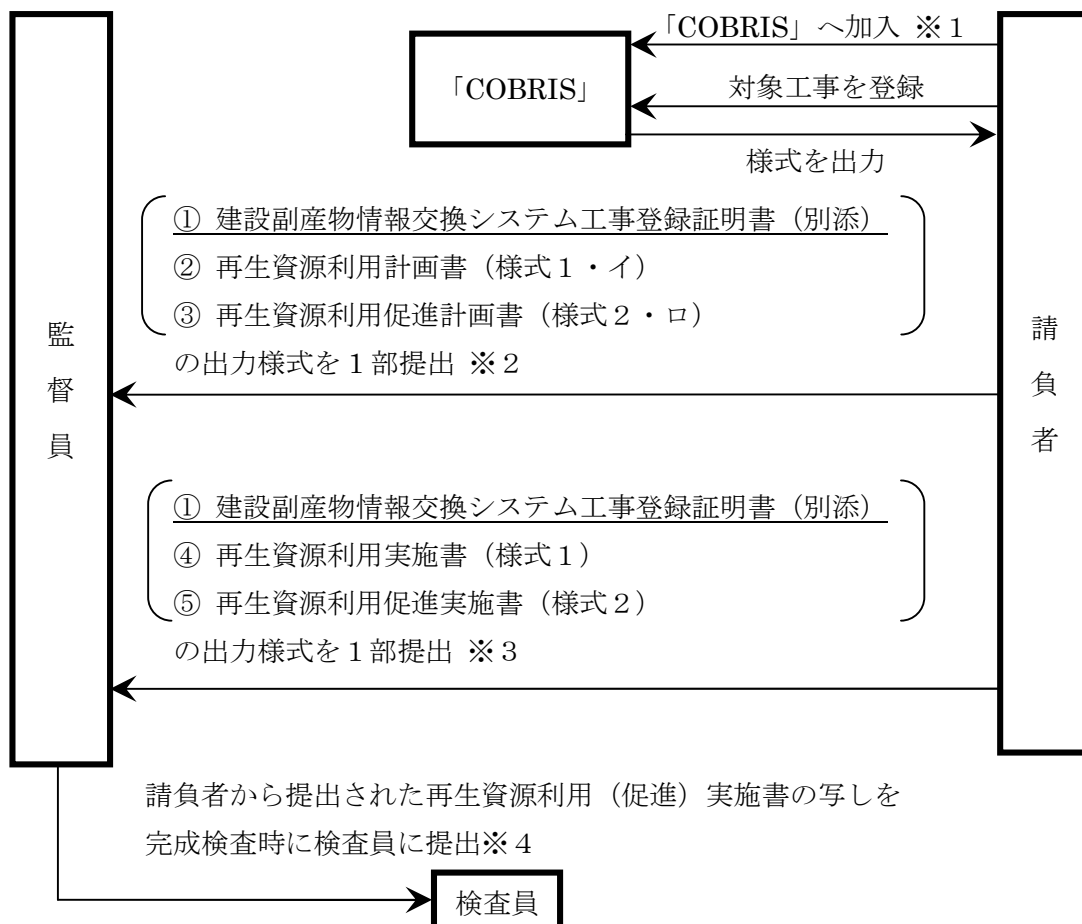
(1) 対象工事

建設リサイクル法対象工事及び、資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事

- ・建設リサイクル法対象工事：請負代金の額 500 万円以上の特定建設資材を用いた工事
- ・資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事

再生資源利用計画書（実施書）	再生資源利用促進計画書（実施書）
次のいずれか1つでも満たす建設資材を搬入する建設工事 1. 土砂・・・・・・・・・・1,000㎡以上 2. 碎石・・・・・・・・・・500 t 以上 3. 加熱アスファルト混合物・・200 t 以上	次のいずれか1つでも満たす指定副産物を搬出する建設工事 1. 土砂・・・・・・・・・・1,000㎡以上 2. コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊 } 合計 200 t 以上 建設発生木材

(2) 提出方法



※1 請負者は、建設副産物情報センターHP より「COBRIS」に加入する。
建設副産物情報センターHP URL : <http://www.recycle.jaic.or.jp/>

※2 請負者は、「COBRIS」に対象の工事情報を登録し、出力した

① 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 (別添)

② 再生資源利用計画書 (様式 1・イ)

③ 再生資源利用促進計画書 (様式 2・ロ)

を、監督員に 1 部提出する。

監督員は、提出された書類の記載内容を確認する。

(本システムへの工事情報の登録確認は、①の提出により行うものとする。)

※3 請負者は、「COBRIS」に対象の工事情報を登録し、出力した

① 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 (別添)

④ 再生資源利用実施書 (様式 1)

⑤ 再生資源利用促進実施書 (様式 2)

を施工完了後、監督員に 1 部提出する。

監督員は、提出された書類の記載内容を確認する。

(本システムへの工事情報の登録確認は、①の提出により行うものとする。)

※4 監督員は、提出された

④ 再生資源利用実施書 (様式 1)

⑤ 再生資源利用促進実施書 (様式 2)

の写しを完成検査時に、検査員に提出する。

(3) 「COBRIS」の操作に要する費用は、共通仮設率に含まれる。

(4) 適用年月日

平成 30 年 4 月 1 日以降に起工する工事

(既発注工事についても、請負者が希望する場合は「COBRIS」の利用を可能とする。)

(5) 「COBRIS」利用申し込み等、システムに関する問合せ先

建設副産物情報センター URL : <http://www.recycle.jaic.or.jp/>

(TEL) 03-3505-0410

本運用に関する問合せ先

福岡県 県土整備部 企画課 技術調査室 技術調査班

(TEL) 092-643-3644 (内線) 4375

作成日：平成30年03月05日
工事ID：4929569

建設業許可番号：国土交通大臣(一般)999981

(株) ○△建設 殿

一般財団法人 日本建設情報総合センター



建設副産物情報交換システム工事登録証明書 (計画・実施)

本証明書は、下記の工事が平成30年03月05日現在、建設副産物情報交換システムに登録されていることを証明するものです。

見 記 本

工事概要

調査区分	: 計画・実施
発注機関	: 福岡県 ○○事務所
請負会社名	: (株) ○△建設
会社所在地	: 福岡県○○市○○町△丁目○○番○○号
工 事 名	: ○○町○○号舗装工事
工事場所	: 福岡県○○市○○町
工 期	: 平成30年○月○日 ～ 平成30年○月○日
請負金額	: 20,000,000円 (税込)
工事概要等	: 工事長 L=○○m 路面切削工 A=○○m ² 舗装工 A=○○m ²

様式1・イ 再生資源利用計画書 ―建設資材搬入工事用―「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版―

1.工事概要

発 注 機 関 名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄		請 負 会 社 名		請負会社コード*2		記入年月日	H.	年	月	日
		担当者		建設業許可 または 解体工事業登録	大臣 知事	号		工事責任者				
		TEL		会 社 所 在 地		TEL FAX		調査票記入者				

工 事 名	工事種別コード*3		請負金額	千 百 十 億 億 億 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入 0,000 円 (税込み)	左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用 千 百 十 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入 0,000 円 (税込み)	再資源化等が完了した年月日 平成 年 月 日 建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい
工事施工場所	都 道 市 区 府 県 町 村	住所コード*4	工 期	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで		
工 事 概 要 等	施工条件の内容 (再生資源の利用 に関する特記事 項等)					
震災関連						

建築面積
延床面積
構 造
(数字に○をつける)
使 途
(数字に○をつける)

1.鉄骨鉄筋コンクリート造
4.コンクリートブロック造
1.居住専用
4.店舗
7.学校

2.鉄筋コンクリート造
5.木造
2.居住産業併用
5.工場、作業所
8.病院診療所

3.鉄骨造
6.その他
3.事務所
6.倉庫
9.その他

階 数
地上 階
地下 階

※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。

2.建設資材利用計画

建設資材（新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入して下さい）							再生資源
分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A) 小数点第一位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*7	施工条件 内容 コード*8	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	再生資材の名称 コード*9	再生資材利用量(B) 小数点第一位まで	利用率 B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン							トン	%
				トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
	コンクリート 及び鉄から 成る建設資 材			トン							トン	%
				トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
	木材			トン							トン	%
				トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
	アスファルト 混合物			トン							トン	%
				トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
その他の建設資材	土砂			締めm ³							締めm ³	%
				締めm ³							締めm ³	%
		合計		締めm ³							締めm ³	%
	碎石			m ³							m ³	%
				m ³							m ³	%
		合計		m ³							m ³	%
	塩化ビニル管 ・継手			kg							kg	%
				kg							kg	%
		合計		kg							kg	%
	石膏ボード			トン							トン	%
				トン							トン	%
		合計		トン							トン	%
	その他の 建設資材			トン							トン	%
				トン							トン	%
		合計		トン							トン	%

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材)
2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M)
4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他のCo再生骨材)
6.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
7.無筋コンクリート二次製品
8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品
2.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く)
2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン
2.密粒度アスコン
3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン
5.改質アスコン
6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン
2.粒度調整砕石
3.鉱さい
4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石
6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管
2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード
2.シーリング石膏ボード
3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード
5.石膏ラスボード
6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6
アスファルト混合物について
1.表層
2.基層
3.上層路盤
4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体
2.路床
3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用
6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.その他(具体的に記入)
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他(具体的に記入)
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用
2.下水道用
3.ケーブル用
4.農業用
5.設備用
6.その他
石膏ボードについて
1.壁
2.天井
3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード*7
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*8
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

コード*9
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H)
2.再生生コン(Co再生骨材M)
3.再生生コン(Co再生骨材L)
4.再生生コン(その他のCo再生骨材)
5.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
6.再生無筋コンクリート二次製品
7.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.再生有筋コンクリート二次製品
2.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く)
2.再生木質ボード
アスファルト混合物について
1.再生粗粒度アスコン
2.再生密粒度アスコン
3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン
5.再生改質アスコン
6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.浚渫土以外の泥土
5.浚渫土
6.土質改良土
7.建設汚泥処理土
8.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン
2.再生粒度調整砕石
3.鉱さい
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管
2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

様式2・ロ 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第一位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について											再生資源利用促進率 (2)+(3)+(5) ① (%)	
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		住所コード*4	運搬距離 千 百 十	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量			⑤再生資源利用促進量
		用途コード*10	②利用量 小数点第一位まで	うち現場内改良分 小数点第一位まで	減量法コード*11	③減量化量 小数点第一位まで	小数点第一位まで			うち現場内改良分 小数点第一位まで								
資材廃棄物 特定建設物	コンクリート塊						搬出先1	公共 民間					km		トン			
		トン		トン	トン		搬出先2	公共 民間					km		トン	トン	トン	%
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン		トン	トン		搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	アスファルト・コンクリート塊	トン		トン	トン		搬出先1	公共 民間					km		トン	トン	トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン	トン	トン	%
	その他がれき類	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン		トン	トン		搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	建設汚泥	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間					km		トン	トン	トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン	トン	トン	%
	金属くず	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	廃塩化ビニル管・継手	kg					搬出先1	公共 民間					km		kg			%
							搬出先2	公共 民間					km		kg		kg	%
建設廃棄物	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン			%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	廃石膏ボード	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	紙くず	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	アスベスト (飛散性)	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	その他の分別された廃棄物	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン					搬出先1	公共 民間					km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間					km		トン		トン	%
建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第二種建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第三種建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第四種建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	浚渫土以外の泥土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
浚渫土 (建設汚泥を除く)	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
						搬出先2	公共 民間					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合 計	地山m ³		地山m ³	地山m ³										地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)
10.その他の処分

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント(再利用先工事が決定)
5.土質改良プラント(再利用先工事が未決定)
6.ストックヤード(再利用先工事が決定)
7.ストックヤード(再利用先工事が未決定)
8.工事予定地
9.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
10.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
11.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
12.建設発生土受入地(公共事業の土捨て場)
13.建設発生土受入地(農地受入)
14.建設発生土受入地(民間土捨て場・残土処分場)

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」、「H24建設副産物実態調査」対応版ー

1.工事概要

発 注 機 関 名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄		請 負 会 社 名	請負会社コード*2				記入年月日	H. 年 月 日
		担当者		建設業許可 または 解体工事業登録	大臣 知事 号				工事責任者	
		TEL		会 社 所 在 地	TEL FAX			調査票記入者		

工 事 名	工事種別コード*3		請負金額	千 百 十 億 億 億 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入 0,000 円 (税込み)	左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用 千 百 十 億 万 万 万 万 1万円未満四捨五入 0,000 円 (税込み)	再資源化等が完了した年月日 平成 年 月 日 建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい	建築面積 延床面積 構 造 (数字に○をつける) 使 途 (数字に○をつける)	階 数	地上 階 地下 階	
工事施工場所	都 道 市 区 府 県 町 村	住所コード*4	工 期	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで						
工 事 概 要 等	施工条件の内容 (再生資源の利用 に関する特記事 項等)									
震災関連										

2.建設資材利用実施

建設資材（新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入して下さい）								再生資源
分類	小分類 ド*5	規格	主な利用用途 コード*6	利 用 量(A) 小数点第一位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*7	施工条件 内容 コード*8	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	再生資材の名称 コード*9	再生資材利用量(B) 小数点第一位まで	利用率 B/A×100	
特定建設資材	コンクリート			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
	コンクリート 及び鉄から 成る建設資 材			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
	木 材			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
	アスファルト 混合物			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
その他の建設資材	土 砂			締めm ³							締めm ³	%	
				締めm ³							締めm ³	%	
	合 計			締めm ³							締めm ³	%	
	砕 石			m ³							m ³	%	
				m ³							m ³	%	
	合 計			m ³							m ³	%	
	塩化ビニル管 ・継手			kg							kg	%	
				kg							kg	%	
	合 計			kg							kg	%	
	石膏ボード			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	
	その他の 建設資材			トン							トン	%	
				トン							トン	%	
	合 計			トン							トン	%	

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他のCo再生骨材) 6.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材)
7.無筋コンクリート二次製品 8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品 2.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6
アスファルト混合物について
1.表層 2.基層
3.上層路盤 4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用 6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.その他(具体的に記入)
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他(具体的に記入)
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケーブル用
4.農業用 5.設備用 6.その他
石膏ボードについて
1.壁 2.天井 3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード*7
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*8
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

コード*9
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H) 2.再生生コン(Co再生骨材M)
3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他のCo再生骨材)
5.再生生コン(Co再生骨材以外の再生材) 6.再生無筋コンクリート二次製品
7.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.再生有筋コンクリート二次製品 2.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード
アスファルト混合物について
1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土
4.浚渫土以外の泥土 5.浚渫土 6.再生土
7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第一位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)	
		用途 コード *10	②利用量 小数点第一位まで	うち現場内 改良分 小数点第一位まで	減量法 コード *11	③減量化量 小数点第一位まで	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに○を 付けて下さい	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 千 百 十 ー km	搬出先の 種類 コード *13	④現場外搬出量 小数点第一位まで	うち現場内 改良分 小数点第一位まで	⑤再生資源 利用促進量	
資材廃棄物	コンクリート塊		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が 廃棄物となったもの)		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
	アスファルト・ コンクリート塊		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
建設廃棄物	その他がれき類		トン				搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃 棄物となったもの)		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
	建設汚泥		トン	トン		トン	搬出先1	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
	金属くず		トン				搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
	廃塩化ビニ ル管・継手	kg					搬出先1	公共 民間				km		kg		kg	%
							搬出先2	公共 民間				km		kg		kg	%
	廃プラスチック (廃塩化ビニル 管・継手を除く)	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
	廃石膏ボード	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
	紙くず	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
建設発生土	アスベスト (飛散性)	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
	その他の分別 された廃棄物	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
	第一種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第二種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第三種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第四種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	浚渫土以外の泥土	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	浚渫土 (建設汚泥を除く)	地山m ³		地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
合 計		地山m ³		地山m ³	地山m ³								地山m ³	地山m ³	地山m ³		%

コード*10

1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11

1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12

施工条件について

1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)

2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)

3.自由処分

コード*13

【建設廃棄物の場合】

1.売却 8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
2.他の工事現場 9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)
3.広域認定制度による処理 10.その他の処分
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)

【建設発生土の場合】

1.売却 7.ストックヤード(再利用先工事が未決定)
2.他の工事現場(内陸) 8.工事予定地
3.他の工事現場(海面) 9.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
ただし、廃棄物最終処分場を除く 10.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
4.土質改良プラント(再利用先工事が決定) 11.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
5.土質改良プラント(再利用先工事が未決定) 12.建設発生土受入地(公共事業の土捨て場)
6.ストックヤード(再利用先工事が決定) 13.建設発生土受入地(農地受入)
14.建設発生土受入地(民間土捨て場・残土処分場)